

順天堂医院ニュース 2015 NO.51

平成27年度を迎えて ～院長あいさつ～

新年度を迎えて、順天堂医院では皆さまに最善の医療を提供すべく職員一同決意を新たにしているところです。

当院は現在、新病棟（B棟）のⅡ期工事、C棟の建築を進めています。完成すると外来・病棟ともにさらに充実した順天堂に生まれ変わる予定です。ご不便をおかけするところがあるかもしれませんが、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

当院では高い専門性を持った各診療科が最新の医療を患者さんの立場に立って実践することを目標に、日夜診療にあたっています。また、院内ばかりでなく地域の病院や診療所と連携を取りながら患者さん個人個人に最適な医療を提供すべく努力を続けています。

私たち順天堂の合言葉は、学是である“仁”です。他に思いやる心をもって、患者さんやご家族、そして仲間と協力し合いながら、心のこもった医療で皆さまに満足いただけるよう精進してまいります。



院長 代田 浩之

完全胸腔鏡下肺葉切除術

小児外科・小児泌尿生殖器外科 古賀 寛之

当科の特徴は、術後の痛みが少なく、創部の審美性に優れている内視鏡下（腹腔鏡・胸腔鏡・後腹膜鏡）手術を、小児にも積極的に取り入れている点が挙げられます。

特に先天性肺嚢胞性疾患に対する完全胸腔鏡下肺葉切除術に取り組んでいる小児外科施設は世界的にも当科を含め数施設のみであり、国内のみならず国際的にもこの分野をリードする存在であります。術

後の創が殆ど目立たないことから、当科で手術を受けた方々の満足度は高く、術後成績も良好です。本術式を安全・確実に行うために、呼吸器外科：鈴木健司教授・麻酔科：西村欣也教授とチームを組み、手術を行っております。他科との良好なチームワークがこれまでの良好な術後成績に繋がっているものと考えております。

皆さまから「順天堂医院小児外科で手術を受けてよかった」と思っただけのように、今後もより安全で侵襲の少ない内視鏡下手術を目指してまいります。



教授
山高 篤行



准教授
古賀 寛之



術中



術後：創は殆ど目立ちません

物忘れ外来

脳神経内科 本井 ゆみ子

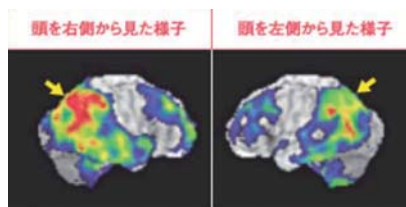
“あれ、財布どこに置いたかな？” “今日は何月何日だったかな？” などと思うことはありませんか？ 時間をかけて答えがわかれば問題ありませんが、財布を紛失してしまう場合は要注意です。“いつも同じ事を聞く”と周りの人から言われる方も黄色信号ですので物忘れ外来を受診してください。物忘れ外来では、物忘れが年齢相応でいいのか認知症なのか、また、認知症の場合は何という認知症なのかを診断するために様々な検査を行います。初診時には問診と簡単な認知機能テストと CT または MRI を行います。そこで、精密検査が必要な場合には血液検査と脳血流シンチグラフィ（右図）を予約検査で行い、早期のアルツハイマー病などを診断、治療していきます。



教授
服部 信孝



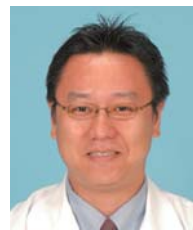
准教授
本井 ゆみ子



「血尿外来」について

腎・高血圧内科 鈴木 祐介

血尿を放置していませんか？わが国では学校検尿に始まり、職場健診や地域健診などの至る所で検尿検査が行われ、腎や泌尿器疾患の早期発見に寄与しています。一般に、蛋白尿は腎疾患によるものが強く疑われるため、精密検査が行われます。一方、血尿(尿潜血陽性)は種々の理由(再現性が乏しい、生理など)により、原因がはっきりしないまま経過観察になっていることが多くみられます。年余にわたり血尿が持続する場合や50歳を超えての初発の血尿などには、思わぬ疾患が隠れていることがあります。特に長年の喫煙歴やがんの家族歴のある方などは、悪性腫瘍の発症に要注意です。一方で、CTや腹部超音波で異常はなくても血尿が持続している方は、腎炎、特に「IgA腎症」という疾患に注意が必要です。IgA腎症は日本人に非常に多い疾患で、血尿を初発症状として進行します。自覚症状に乏しいものの、放置すると約4割の方は末期腎不全(透析)に進行してしまう予後不良の疾患です。最近、われわれは、腎生検を行わなくても少量の血液を採取するだけで、隠れIgA腎症である可能性を診断する方法を見出し、現在血尿の2次スクリーニングとして全国多施設で解析しています(厚生労働省難治性疾患等克服研究事業・腎疾患対策研究事業)。当院では「血尿外来」を開設し、「本当に経過観察のみでよい血尿か否か」のスクリーニングを積極的に行っています。血尿でお悩みの方は、是非腎・高血圧内科にご相談ください。



准教授
鈴木 祐介

看護部ニュース

院内緊急コールシステムについて

患者さんご家族の方々の安全のために、当院では、院内緊急コールシステム(通称:「スタートコール」)を取り入れています。すでに院内放送でご存知の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。患者さんの急な体調不良や、異変に気付いた職員が「スタートコール」をすると、救急プライマリケアセンターの医師・看護師が即現場に駆けつけ、必要な医療処置を開始します。

救急プライマリケアセンターは、患者さんの命と安全を守るために24時間活動し、救急におけるリーダーシップを発揮する役割を担っています。急な体調不良を自覚された場合は、近くにいる職員にいつでもお声をおかけください。

救急プライマリケアセンター

救急蘇生バッグとAEDを携え、医師と看護師が駆けつけます！



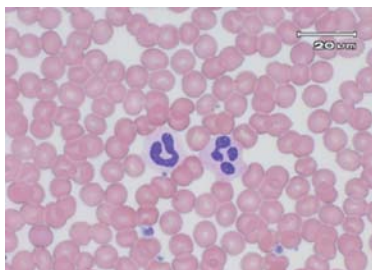
臨床検査部ニュース

血液像について

一般に白血球といっているのは、5種類の重要な白血球（好中球、リンパ球、単球、好酸球、好塩基球）を総称しているもので、これを分類する検査を血液像（白血球分画）といいます。血液像は、白血球数で異常が認められた場合や貧血、出血傾向などの症状がある場合に検査されることが多く、病気の診断に役立ちます。白血球全体に占める5種類の白血球の割合を%で表し、基準値内の割合であれば正常といえます。5種類の白血球には、それぞれ違う働きがあり、好中球や単球は細菌などの異物を取り込み殺菌する殺菌能があります。リンパ球は免疫能に深く関与しており、好酸球はアレルギー性疾患や寄生虫感染で増加します。白血球数の異常とともに血液像の異常、つまり、白血球5種類のバランスがどのように崩れているのかを調べることによって、現在どのような異常が体に起こっているのかを知ることができます。



血液像検査の様子



顕微鏡で見える白血球

栄養部ニュース

「だし」は和食の基本



「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録されたことは、みなさんの記憶にも新しいと思います。その和食に欠かせないのが「だし」です。しかし、自分でだしを取るのはなんとなく面倒で、つい顆粒だしを使ってしまう人も多いのではないのでしょうか。今回はだしの魅力をみなさんに知っていただきたいと思います。

☆おいしい「だし」が取れる食材はたくさんあります☆

かつお、昆布、煮干し、鶏ガラ、しいたけ、あさり、あご（とびうお）、豚骨など

☆「だし」を取るメリット☆

素材本来の味を楽しめる、調味料（特に塩分）を控えることができる、体に良い栄養成分を摂取できる など

☆簡単な一番だしの取り方☆

ポットのお湯 500cc に昆布 3g、かつお節 8g を入れて 1 分置く。たったこれだけ !!



野菜の皮やへたからでも取れる「だし」。皆さんも食生活に取り入れて、和食を守っていきませんか？

栄養部 岩岡 愛美(管理栄養士)

薬剤部ニュース

腎臓病と薬の関係

腎臓の障害としてよく聞かれる 1 つにネフローゼ症候群があります。この障害は、血液を濾過し、尿を作る部分の障害により、本来もれ出ることのない蛋白質が尿にもれ出してしまう状態です。蛋白尿により多くの蛋白質が体内から失われると、低蛋白血症になります。低蛋白血症により、浮腫や脂質異常症が引き起こされると考えられており、浮腫の原因としては、蛋白尿による血管内に水分を保つ力の低下や循環血漿量の増加など、また、脂質異常症の原因として、低蛋白血症により引き起こされる肝臓での蛋白合成の促進などが考えられます。

ネフローゼ症候群の治療では、安静、塩分制限、薬物療法を同時に行う必要があります。腎臓の保護作用を考慮して、ACE 阻害薬や ARB と言われる降圧薬や、脂質異常症に対して抗コレステロール薬を使用することもあります。また、薬物療法の基本としてステロイド剤の使用が挙げられます。また、症状やネフローゼ症候群のタイプによっては、免疫抑制剤を使用することもあります。

ステロイド剤は、副作用の多い薬です。一般的に胃酸の分泌を抑える胃薬や骨粗しょう症を予防する薬など、ステロイド剤の副作用を予防する薬と一緒に飲んでいくようになります。安全、安心にステロイド剤を服用するためにも、医師の指示に従って服用することがとても大切です。また、ステロイド剤は風邪に対する免疫力を下げてしまうことがありますので、手洗い・うがいやマスクをするなどの感染予防をしっかりと施すことも併せて重要となります。

最後になりますが、腎臓病を悪化させないためにも薬をしっかりと飲むことはもちろん、“規則正しい生活”、“体調に敏感になる”、“無理をしない”、“疲れたらしっかりと休む”などの腎臓に負担をかけない生活を心掛けるようにしましょう。



平成27年1月より、70歳未満の方の 高額療養費の自己負担額の所得区分が変更になりました

健康保険制度の『高額療養費制度』において、入院や通院での医療費が高額になりそうなとき、**あらかじめ保険者（保険証に記載されています）に『限度額適用認定証』の申請をして**、交付された認定証を病院の会計窓口に表示すると、1ヶ月の医療費のお支払いが、自己負担限度額【表1】までとなります。

平成27年1月からこの自己負担限度額の所得区分が、これまでの**3区分から5区分**に変更されました。

【表1】1ヶ月分の自己負担限度額

区分	所得区分	直近12ヶ月に該当した回数が3回目まで	4回目以降
ア	年収 約1,160万円以上	252,600円 + (総医療費 ※) - 842,000円 × 1%	140,100円
イ	年収 約770～約1,160万円	167,400円 + (総医療費 ※) - 558,000円 × 1%	93,000円
ウ	年収 約370～約770万円	80,100円 + (総医療費 ※) - 267,000円 × 1%	44,400円
エ	年収 約370万円以下	57,600円	44,400円
オ	低所得者 (住民税非課税)	35,400円	24,600円

※総医療費とは？⇒患者さん負担分3割と保険者負担分7割を合わせた10割相当の医療費を指します。

高額療養費の対象範囲は？

健康保険の自己負担分が対象になります。保険の効かない医療費、食事療養費、特別療養環境室料、文書作成料等の諸費は高額療養費の対象にはなりません。

高額療養費の計算方法は？

- ・ 暦月ごと（月の1日から末日まで）の計算
- ・ 病院、診療所ごとに別計算
- ・ 同じ病院、診療所でも、入院・通院は別計算

申請手続きの窓口は？

健康保険証に記載されている保険者です。

☆70歳以上の方は、自己負担限度額の変更はありません。

「高齢受給者証」か「後期高齢者医療被保険者証」をお持ちの方は、それを病院の会計窓口に表示してください。上記の「限度額適用認定証」の申請は必要ありません。



ご面会についてのご案内



2015年3月16日(月)よりご面会の手続き方法が変わります。

入院中の患者さんの安全確保と防犯対策のため、患者さんもしくは付添いの方以外のご面会の方や、お見舞いの方の病棟への立ち入りを管理することを目的としております。

●ご面会時間

14:00～20:00（日曜、祝日含む）

●ご面会方法

1. 1号館1階総合案内にて面会票をご記入いただき、**面会者シールを胸に貼付し、面会票は常に携帯**してください。

※面会者シールおよび面会票を確認できない場合は、セキュリティ対策のため職員または警備員がお声をかけさせていただく場合がございますのでご了承ください。

面会者

順天堂大学医学部附属順天堂医院

1/B

病棟

面会者シール

2. 総合案内職員がご面会予定の患者さんのフルネームと生年月日等を確認させていただき、病棟をご案内します。ご確認できない場合には、病棟にご案内できない場合がございます。
3. 病棟ステーションへお声かけください。
※面会先がB棟の方は、病棟に着きましたらエレベーターホールのインターフォンを押し、面会である旨お話しください。
4. お帰りの際は総合案内もしくはB棟警備室へ**面会票と面会者シールを必ずご提出**ください。

●ご注意

- *食事時間帯のご面会をご遠慮ください。
- *ご面会の方の病棟内での飲食をご遠慮ください。
- *15歳未満のお子様のご面会をご遠慮ください。
- *治療上の都合によりご面会できない場合がございます。
- *発熱・鼻汁・咳・嘔吐・下痢・目の充血・全身倦怠感などの症状のあった方は、医師・看護師にご相談ください。
- *集中治療室は患者さんの容態が不安定なため、ご家族の方以外のご面会を原則お断りさせていただいております。

順天堂大学医学部附属順天堂医院 院長

順天堂医院の今昔

江戸時代の順天堂外科記録から

順天堂は1838年(天保9)に佐藤泰然が長崎留学から戻り、江戸の薬研堀(いまの東日本橋)に医学塾「和田塾」を開いたときからはじまる。昨年4月10日、創立175周年の祝典が天皇皇后両陛下のご臨席の下に行われた。

江戸には杉田玄白の蘭学塾「天真楼」が始まって以来、有名な蘭学塾がいくつもあったが、長崎帰りの泰然が始めた「和田塾」は、江戸の町に最新の外科塾として名を馳せた。和田塾が軌道に乗った天保14年(1843)、泰然は和田塾を娘婿林洞海に譲って、自らは佐倉に移った。それから15年後、安政5年(1858)将軍家定が危篤になったとき、6人の蘭方の名医が奥医師に抜擢されたが、林洞海はその一人であった。

佐倉に移った泰然が開いた順天堂は、外科塾として大いに名をあげ医学生が全国各地から集まった。当時、順天堂で行った外科手術の記録『外科実験』が残るが、それに佐藤泰然が、嘉永4年(1851)12月、62歳の農夫に日本で最初の「小便閉膀胱穿孔術」を行った症例が載る。このとき、患者に腹壁から膀胱穿孔をすると、大激痛のあと尿が自然に出て治ったとある。カテーテルの使い方がわからない時代であった。

『順天堂外科実験』に、泰然の次男松本良順が診察したテタヌス(破傷風)の記録が

ある。患者は40歳の武士、良順以外に有名な医師もよばれたが、良順は患者の後弓反張(背中が反り返るさま)をみてテタヌスと診断した。しかし、幕府の医師であった良順は治療していない。当時、幕府の奥医師は外科、眼科以外の治療を禁じられていたからであろうか。



『順天堂外科実験』
1850～1853(嘉永3～6)年、順天堂で行われた手術の記録。

順天堂大学医学部医史学研究室
特任教授 酒井シヅ

順天堂大学医学部附属順天堂医院
〒113-8431 文京区本郷3-1-3
TEL : 03-3813-3111(代表)

編集 病院広報委員会
発行 医療サービス支援センター
地域医療連携室(平成27年4月発行)

ホームページ
<http://www.juntendo.ac.jp/hospital/>

順天堂医院

検索

